

知って得する健康保険の基礎知識 85

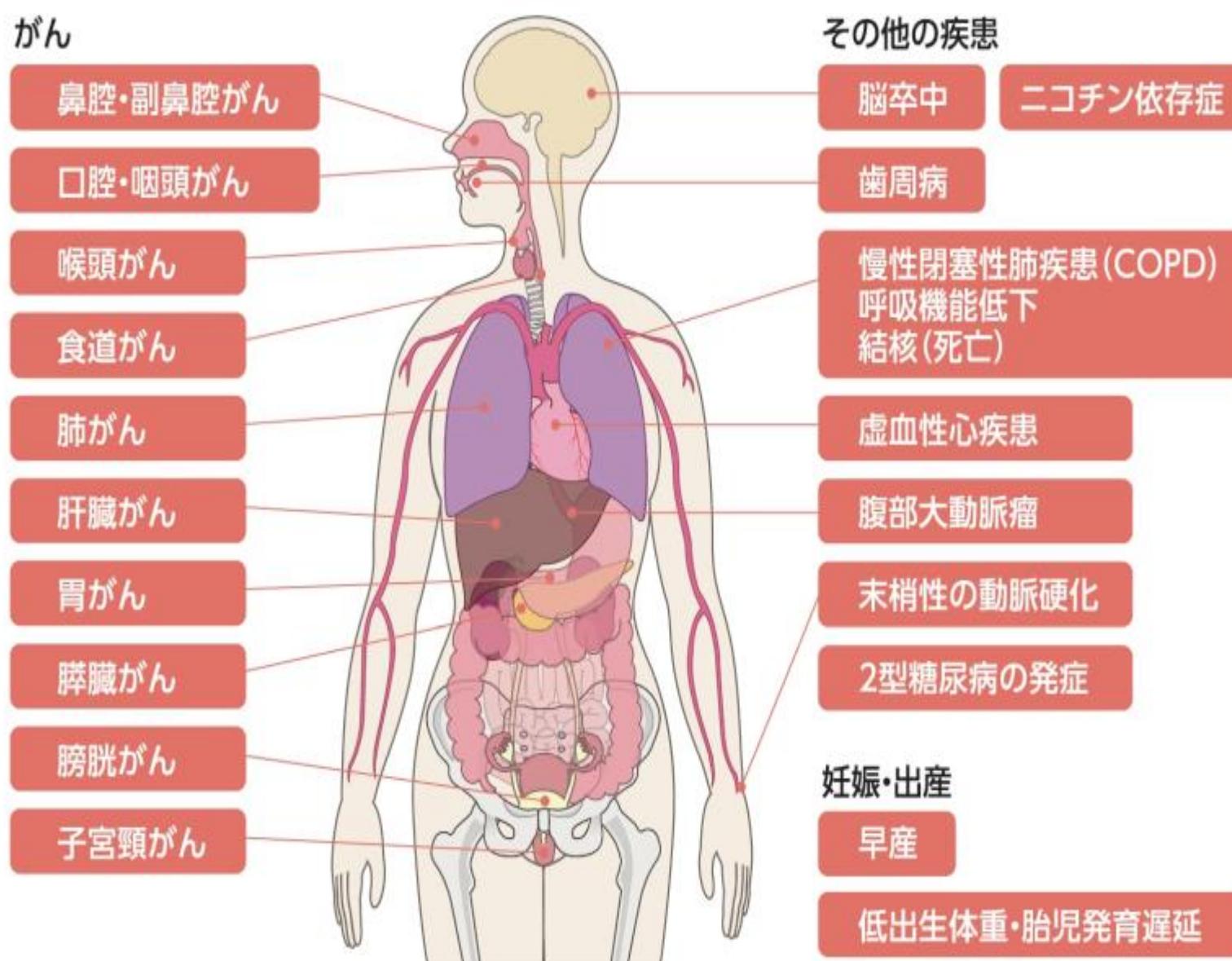
～ 卒煙・禁煙にチャレンジ！～

喫煙はがんをはじめ、脳卒中や虚血性心疾患などの慢性閉塞性肺疾患(COPD)や結核などの呼吸器疾患、2型糖尿病、歯周病など、多くの病気と関係しており、予防できる最大の死亡原因であることがわかっています。

がんをはじめ、さまざま重大い疾病と関係がある「喫煙」、そろそろ卒煙・禁煙しませんか？健康保険組合では「禁煙」に取り組む方に、禁煙補助を行っています。是非、お問い合わせ下さい。

下記は、日本人における喫煙者本人への影響(能動喫煙)として、喫煙との関連について「科学的証拠は、因果関係を推定するのに十分である(レベル1)」と判定された疾患等です。

たばこを吸っている本人はこんな病気になりやすくなる(根拠十分:レベル1) ※厚生労働省 e-ヘルスネットより



※コラボヘルス（企業と健康保険組合が協働で行う健康増進施策）

帝国ホテルをはじめ各事業主と帝国ホテル健康保険組合は積極的に協力し合い、被保険者と家族の健康増進に対する施策をすすめています。「知って得する健康保険の基礎知識」は皆さんに役立つ情報をお知らせする「コラボヘルス」施策のひとつです。